

みずほCustomer Desk Report 2022/10/07号(As of 2022/10/06)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	144.67
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	144.43	0.9912	143.15	1.1354	0.6512
SYD-NY High	145.14	0.9927	143.45	1.1378	0.6540
SYD-NY Low	144.39	0.9789	141.98	1.1114	0.6390
NY 5:00 PM	145.14	0.9793	142.14	1.1160	0.6411
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	29,926.94	▲ 346.93	日本2年債	▲0.0800%	▲0.0100%
NASDAQ	11,073.31	▲ 75.33	日本10年債	0.2500%	0.0100%
S&P	3,744.52	▲ 38.76	米国2年債	4.2537%	0.1087%
日経平均	27,311.30	190.77	米国5年債	4.0715%	0.1079%
TOPIX	1,922.47	9.55	米国10年債	3.8256%	0.0718%
シカゴ日経先物	27,035.00	0.00	独10年債	2.0850%	0.0695%
ロンドンFT	6,997.27	▲ 55.35	英10年債	4.1675%	0.1335%
DAX	12,470.78	▲ 46.40	豪10年債	3.7980%	0.1430%
ハンセン指数	18,012.15	▲ 75.82	USDJPY 1M Vol	11.44%	▲0.19%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	11.15%	▲0.23%
NY金	1,720.80	0.00	USDJPY 6M Vol	11.26%	0.02%
WTI	88.45	0.69	USDJPY 1M 25RR	▲1.46%	Yen Call Over
CRB指数	282.26	0.37	EURJPY 3M Vol	13.10%	0.15%
ドルインデックス	112.26	1.18	EURJPY 6M Vol	13.11%	0.16%

東京	早朝に北朝鮮の弾道ミサイル発射報道があったものの、反応は限定的となり、東京時間のドル円は144.43レベルでオープン。オープン後ほとんど動かずにつけた144.39を底値に、仲値にかけて実需のドル買いが進み144.70まで上昇。ただその後は明日に米雇用統計を控えた様子見ムードもあってか、144円台半ば近辺で底堅さを感じつつも明確な方向感を欠き、結局144.56レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、144.56レベルでオープン。英国債が売られる中ポンド売り主導でドル高。ドル円も一時144.77まで上昇し144.69レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は144円台半ばでスタート。オセアニア時間に再び北朝鮮が弾道ミサイルを発射したとの報道があったものの、市場は反応薄でレンジトレードが続いた。その後、英国債安・ポンド安を受けてドル高に推移したことから144円台後半までじり高推移となり、144.69レベルでNYオープン。朝方は米失業保険の新規申請件数や継続受給者数が発表されるも、予想範囲内の結果だったことから市場の反応は限定的。その後、カシュカリ・ミネアポリス連銀総裁が「政策スタンス変更のハードルは非常に高い」との発言が伝わる中、米金利上昇とともにドル買いが強まり145.08まで上昇。買い一巡後、144.90近辺まで反落する場面もあったが、米金利上昇・ドル高の流れは止まらず、終盤は高値をじわじわと更新する展開。結局、高値の145.14レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは0.99台前半でスタート。0.99台半ばまで上昇する場面もあったが、EU圏の景気後退懸念が燃る中、次第に上値が重くなり、早朝には上昇分を全て吐き出し、0.9794レベルでNYオープン。特段新規の手掛かり材料は見当たらず、米金利上昇を眺めながらドルが買われ続けた結果、午後には0.9800を割り込み、0.9789まで下落。売り一巡後も安値圏で推移し、結局、0.9793レベルでクローズ。

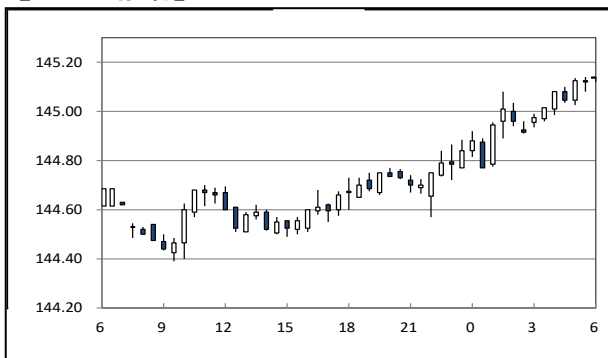
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月6日	15:00	独 製造業受注(前月比)	8月 -2.4%	-0.7%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	1-Oct 219k	204k
	22:15	米 カシュカリ・ミネアポリス連銀総裁 講演	「政策スタンス変更のハードルは非常に高い」	
10月7日	02:30	米 エバンス・シカゴ連銀総裁 講演	「利上げを更に進める必要がある」	

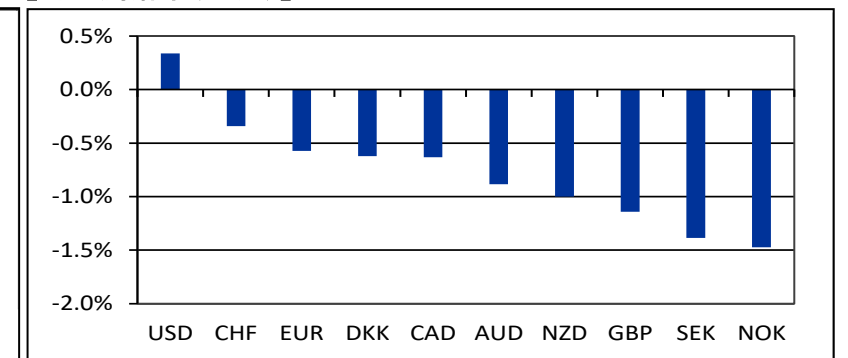
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月7日	15:00	独 鉱工業生産(前月比/前年比)	8月 -0.5%/2.3%	-0.3%/-1.1%
	21:30	米 非農業部門雇用者数変化	9月 255k	315k
	21:30	米 失業率	9月 3.7%	3.7%
	21:30	米 平均時給(前月比/前年比)	9月 0.3%/5.0%	0.3%/5.2%
	23:00	米 ウィリアムズ・NY連銀総裁 講演	-	-
10月8日	00:00	米 カシュカリ・ミネアポリス連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	143.50-145.50	0.9650-0.9900	140.50-143.50

【マーケットインプレッション】

昨日のドル/円は続伸。アジア時間帯、欧州時間は特にイベントもなく、144.40～144.70台でのレンジ推移。米国時間に入るとミネアポリス連銀総裁がタカ派姿勢を堅持し、利上げ休止はかなり遠い先と発言。今週に入って複数のFRB高官が同様のタカ派姿勢を表明したこともあり、10年債利回りが上昇。米雇用統計を前に、週前半の弱い米経済指標を受けたドル売りに対するポジション調整も入ってか、ドル/円も上昇し、145円を突破し、145円台をキープしてクローズした。本日のドル/円はともみ合いの展開になるものと予想。米雇用統計を控えるも、FRB高官のタカ派姿勢を考えると、よほど弱い内容とならない限りはドルが強い状況は変わらずだが、先月日銀の介入が入った145.30の水準に迫っており、警戒感が強くその水準では押し戻されやすい展開になると考える。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:永野・西